⚠注意 ⚠警告 ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

⚠警告 ★物干の近くにストーブ等の熱器具は絶対に置かないでください。
※火災の原因になります。

★物干の下にはお子様を寝かせたり、貴重品やこわれてしまう物などを置かないでください。

※洗濯物や過荷重時のサオの落下により、ケガや物損が発生する恐れがあります。

⚠警告 ★洗濯物以外の物を掛けたり、ぶら下がったりしないでください。
天井保護のための機構が働き、サオが外れる恐れがあり危険です。
使用しない時は天井まで上昇させ、お子様の手が届かないようにしてください。
※落下してケガをする恐れがあります。

⚠警告 ★分解や改造はしないでください。
※ケガや故障、事故の原因となります。

⚠警告 ★カッターなどの鋭利なものでヒモを傷つけないでください。
※ヒモが切れてサオが落下しケガや事故の原因となります。

⚠警告 ★ヒモがほつれるなどの異常が出始めたら寿命ですので新しい製品と交換してください。
※ヒモが切れてサオが落下しケガや事故の原因となります。

⚠注意 ★室内に強い風が入る時には、窓等を閉めてください。
※サオや洗濯物が大きく揺れて、ケガや事故の原因となります。

■故障かなと思った時

症　　状	お調べください
ロックがかかってしまい、竿が収納できない	サオに荷重がかかっている時には本体の操作は出来ません。 サオに洗濯物やハンガー等がかかったままではないか、お調べください。
	サオが揺れている状態では操作途中でロックが掛かりやすくなり、操作しづらくなります。 もしサオが揺れている場合は、揺れがおさまってから操作してください。
	速い操作は、サオの収納動作（サオが上昇する動作）を行いにくくすることがあります。 操作途中でサオのロックが掛かって動かなくなる場合は、一度、最下段まで下げてから、ゆっくりと動作させてください。
昇降動作ができずに、操作ヒモも動かない	急激な操作は、本体内部でヒモがからまりサオが斜めになって動かなくなることがあります。 その場合にはメンテナンス④を参考に復旧させてください。 ※サオを降ろす時、『思いっきり引っ張る』などの急激な操作はお控えください。
操作音が気になる	製品を作動させている時には、部品が動くため音がします。ご了承ください。

※それでも直らなかった場合、当社製品取扱店等にお問い合わせください。

■主要部の材質及び仕様

部材		
部材	本体・サオ	アルミ押出材
部材	ヒ モ	高力繊維
部材	操作棒	アルミ押出材・樹脂

項目	仕様
サオの昇降幅	80cm（ただし、収納～20cmは止まりません）
表示耐荷重	8kgまで
表示装置	重量目安ガイド（重量警告表示装置）

※仕様及び材質は、予告なく変更する場合があります。

販売店・工事店様へ
・この説明書は取付後、施主様又は入居者様へ必ずお渡しください。
・取付けに関しては別紙、取付説明書を参照してください。

お施主様用　TA-0171-05 13.01

取 扱 説 明 書

・このたびは本製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

昇降式室内物干金物 **ホスクリーン® UTMP型** 操作棒タイプ　UTMP－S型 UTMP－L型

姿図

■各部の名称

① 本体
② サオ
③ ヒモ
④ 操作ヒモ
⑤ 操作リング
⑥ 重量目安ガイド（サオ両端に、計4ヶ所あります）
⑦ 操作棒
⑧ 操作棒キャッチ（壁に取付け、操作棒を収納しておきます）
⑨ 延長コード（操作棒を使わず、直接手で操作する場合に使用します。使用方法は、小袋に添付してある説明書をご覧ください）

■危険防止のために

本取扱説明書では「警告」「注意」を、下のような定義で使用しています。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

・ご使用前に本書をお読みのうえ、安全に注意して正しくお使いください。
・お読みになった後は、大切に保管し、必要なときにお読みください。

■使用方法

●サオを下げる時・・・

●サオを収納する時・・・

※サオに洗濯物やハンガー等の荷重が掛かっている時には収納や高さ調整は出来ません。

※操作が終わったら 操作棒を本体から外し、操作棒キャッチにかけておいてください。
（冒頭の姿図にある、操作棒のかけ方を参考にしてください）

株式会社 川口技研　〇営業本部　〒333-0844 埼玉県川口市上青木1-14-41
TEL：048（255）5411（代表）　FAX：048（255）8228
大阪：TEL:06(6380)1150 FAX:06(6380)1179　東北：TEL:0244(36)2002 FAX:0244(36)2155　福岡：TEL:092(437)4111 FAX:092(437)4110

■使用上の注意

事故や故障防止のため、以下のことを必ずお守りください。

⚠注意 ★サオに8kgを越える物をかけないでください。

洗濯物を均等にサオにかけた場合、約5kgで重量目安ガイドに赤いラインが現われ始め、約8kgで全赤になります。

※製品及び天井の保護のため、もしもサオに50kg（吊りヒモ1本あたり25kg）程度の荷重がかかると、サオがズリ落ちる仕組みになっています。
※もしサオがズリ落ちた場合には… メンテナンス⑤をご覧ください。

⚠注意 ★急激に操作ヒモを引く、などの極端な操作はおやめください。
ヒモがからまり、サオが斜めになって動かなくなることがあります。
※もしもサオが斜めになって作動しなくなってしまった場合には… メンテナンス④をご覧ください。
★操作ヒモは真っ直ぐ下へ引いて操作してください。
斜めに引っ張ると、操作ヒモが擦れて、切れやすくなります。

⚠注意 ★サオの片側に大きな荷重が片寄るかけかたは、おやめください。
洗濯物はヒモの内側のサオに均等にかけてください。
※もしもヒモが伸びてサオが斜めになってしまった場合には…メンテナンス②をご覧ください。

⚠注意 ★サオは80cm下がるとそれ以上降下しません。
無理に操作ヒモを引っ張らないでください。

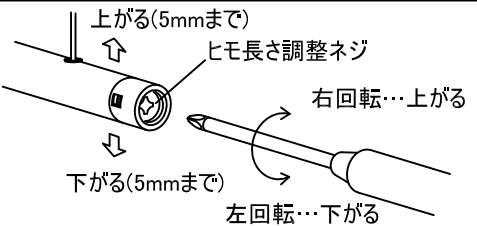
⚠注意 ★サオが揺れた状態で収納させようとすると、途中でロックがかかり、収納しづらい場合があります。
サオは揺れていない状態で、ゆっくりと動作させてください。

⚠注意 ★操作棒や延長コードにぶら下がったり、本製品の操作以外の目的に使用しないでください。
幼児、子供のいたずら操作や遊び道具に絶対しないでください。
※ケガや事故、故障の原因になります。

禁止

■メンテナンス

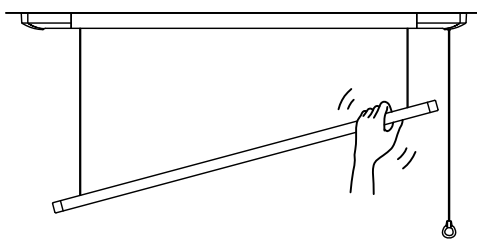
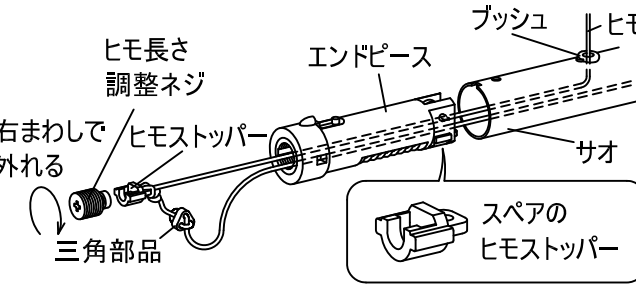
①本体やサオが汚れてしまったら…

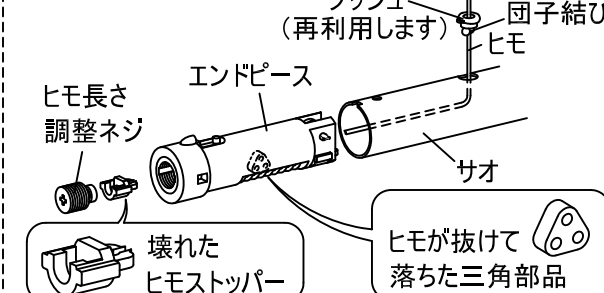
中性洗剤を薄めて、スポンジや柔らかい布を使って汚れを落してください。
その後、洗剤が残らないように水拭きし、最後に乾拭きしてください。
⚠注意 シンナー、ベンジン、タワシ等を使って清掃すると、表面が変色したり傷が付きますので、使用しないでください。

②ヒモが伸びてサオが斜めになってしまったら…

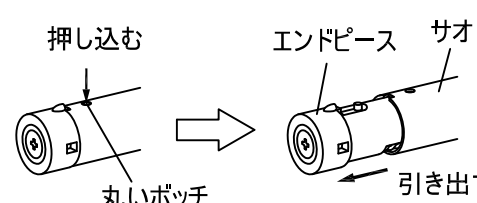
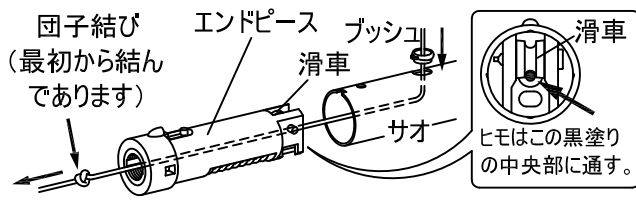
※サオを吊っている左右のヒモの長さを調整して、サオの水平のバランスをとることができます。
・もしサオが水平でない場合には、ドライバーを使ってヒモ長さ調整ネジを回してバランスをとり、サオを水平にしてください。

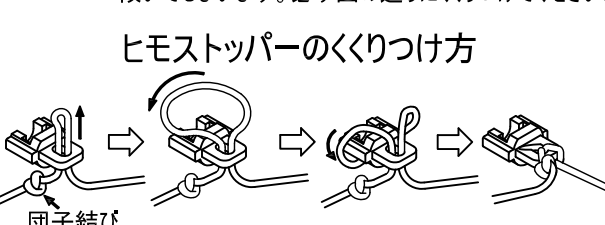
③取付ネジがゆるんだら… 確実にしめ直してください。 ⚠警告 製品が脱落して、ケガなどの恐れがあります。

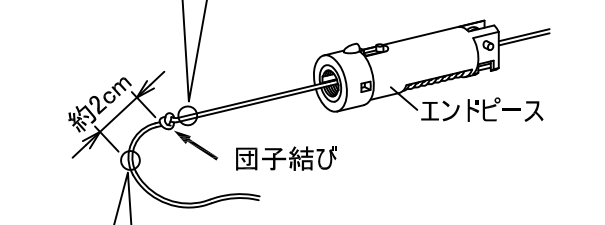
④急激な操作によって、サオが斜めになって動かなくなってしまったら…

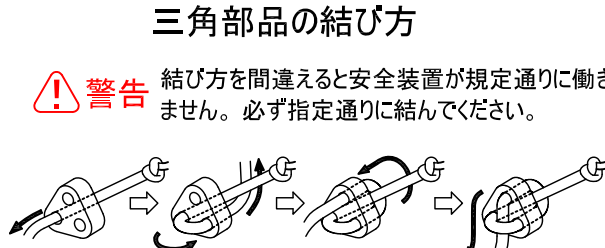
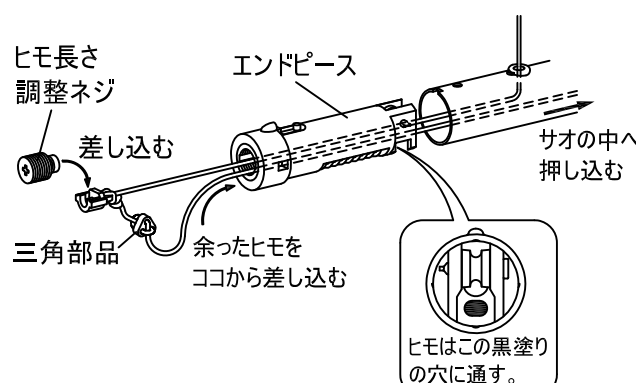
左図のように、サオを手で持ち、少しずつ引っ張ってみてください。
軽く衝撃を与えるように下に引っ張ると、本体内のヒモのからまりがほどけてサオが水平に戻り、また正常に作動するようになることがあります。

⚠警告
体重をかけてサオを引っ張るなどの極端な荷重のかけ方はお止めください。
製品本体ばかりでなく、天井材を痛めたり、取付ネジが抜けて本体が落ちてきたりする場合があり危険です。
※それでも直らなかった場合、当社製品取扱店等にお問い合わせください。

■メンテナンス

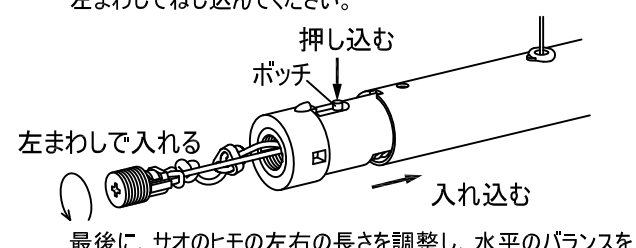
⑤過荷重によってサオがズリ落ちてしまったら…

製品及び天井の保護のため、もしもサオに50kg（吊りヒモ1本あたり25kg）程度の荷重がかかると安全装置としてサオ端部にあるヒモストッパーが破損し、サオがズリ落ちる仕組みになっています。 もし、サオがズリ落ちてしまったら、内蔵されたスペアのヒモストッパーと交換することで復旧することができます。下図の要領で、交換してください。
（ヒモストッパーのスペアはサオの両側に各1個入っています。2つとも使い切った場合は、当社製品取扱店等にお問い合わせください。）

【サオ端部の構造図と部品名】

【サオが落ちた時の分解図】

【ヒモストッパー交換のやり方】

1 下図を参考に、サオの丸いポッチをボールペン等で押し込みながら、エンドピースを引き出します。

構造図を参考に、調整ネジを右側に回して外し、あらかじめ壊れたヒモストッパーと三角部品を取り出しておいてください。

2 次にサオから抜けたヒモを下図のように通して、ブッシュをはめ込みます。

⚠警告 ブッシュがないとヒモがサオに擦り、切れてしまう恐れがあります。必ず付けてください。

3 下図の部分にスペアのヒモストッパーと三角部品を取付けます。

⚠注意 団子結びの位置を間違えるとサオが固定できません。また、ヒモストッパーと団子結びが離れているとサオが傾いてしまいます。必ず図の通りにくくりつけてください。

三角部品の結び方

⚠警告 結び方を間違えると安全装置が規定通りに働きません。必ず指定通りに結んでください。

4 三角の部品を付けたヒモの先を、下図のようにエンドピースに通して、サオの中へ押し込んでください。

⚠警告 サオの中の2本のヒモが絡まないようにご注意ください。規定荷重で安全装置が働来ません。

5 ポッチを押しながら、エンドピースを元通りに入れ込みます。
その後、ヒモをサオに押し込みながら、ヒモ長さ調整ネジを左まわしでねじ込んでください。

最後に、サオのヒモの左右の長さを調整し、水平のバランスをとります。調整の仕方は、メンテナンス②のをよくご覧になり、調整を行ってください。